

日本漢方協会通信

28年6月

第67回日本東洋医学会学術総会

日時 6月3日(金)～5日(日)
会場 高松市 サンポートホール高松 香川国際会議場
参加費 会員15000 一般16000



特別演題プログラム

会頭講演 6月4日(土) 11:10～12:10 第1会場

健康寿命の伸延と病的老化抑止に有効な漢方医学－実験的研究を中心に－

座長: 佐藤 弘 (新潟医療福祉大学 医療経営管理学部 医療情報管理学科)
演者: 清水 寛 (医療法人東洋病院 理事長/徳島大学医学部 臨床教授)

特別講演1 6月5日(日) 9:00～10:00 第1会場

東洋医学と無機医薬品～ヒ素のインパクト

座長: 竹川 俊宏 (社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院/徳島大学 名誉教授)
演者: 桜井 弘 (京都薬科大学 名誉教授)

特別講演2 6月5日(日) 10:00～11:00 第1会場

21世紀の漢方医学: 漢方医学における「創薬」を目指す

座長: 金子 幸夫 (金子医院)
演者: 佐藤 祐造 (愛知みずほ大学大学院人間科学研究科)

特別講演3 6月5日(日) 11:10～12:10 第1会場

大塚敬節先生に学ぶ

座長: 清水 寛 (医療法人東洋病院 理事長/徳島大学医学部 臨床教授)
演者: 松田 邦夫 (松田医院)

招待講演1 6月4日(土) 14:30～15:30 第1会場

高齢化社会とオバマ大統領[Precision Medicine Initiative(個別化医療イニシアチブ)]

座長: 佐藤 弘 (新潟医療福祉大学 医療経営管理学部 医療情報管理学科)
演者: 中村 祐輔 (シガク大学医学部 内科/外科/個別化医療センター)

招待講演2 6月4日(土) 15:30～16:30 第2会場

安心をあたえる

座長: 松田 和也 (松田内科医院)
演者: 櫻原 輝彦 (総本山善通寺第五十七世法主 真宗善通寺派 管長)

招待講演3 6月5日(日) 11:10～12:10 第2会場

Education and practice of Traditional Chinese Medicine in Europe

座長: 安井 廣迪 (安井医院)
演者: Carl-Hermann Hempen (ミュンヘン工科大学)

緊急企画 6月4日(土) 16:40～17:40 第2会場

新しい専門医制度の現状と展開

座長: 福澤 素子 (表参道福澤クリニック)
演者: 千田 彰一 (徳島文理大学 副学長/香川大学 名誉教授)

国際伝統医学ライブ 6月4日(土) 14:30～16:30 第11会場

座長: 加島 雅之 (熊本赤十字病院 内科)
小川 恵子 (金沢大学附属病院 漢方医学科)
関 隆志 (東北大学 CYRIC サイクロトロン核医学研究部)
演者: Carl-Hermann Hempen (ミュンヘン工科大学)
三浦 忠道 (福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座)
小田口 浩 (北里大学東洋医学総合研究所)

日本東洋医学会学術賞講演 6月4日(土) 13:55～14:25 第1会場

桂姜麻草黄辛附湯証の一考察

座長: 佐藤 弘 (新潟医療福祉大学 医療経営管理学部 医療情報管理学科)
演者: 福田 佳弘 (東京 藤門会)

日韓学術交流シンポジウム 6月4日(土) 9:00～11:00 第7会場

座長: 関 隆志 (東北大学 CYRIC サイクロトロン核医学研究部)
Young Chul Kim (大韓韓医学会 副会長)

通訳: 金 成俊 (横浜薬科大学 漢方漢学 漢方治療学研究室)

健康保険適用になっている日本と韓国のエキス製剤

関 隆志 (東北大学 CYRIC サイクロトロン核医学研究部)

Introduction of Ojeoksan usage in Korean clinics

Dongwoo Nam (Department of Acupuncture and Moxibustion Medicine, College of Korean Medicine, Kyung Hee University)

Introduction of Ojeoksan studies in Korea

Sung Yoon Kim (Department of Acupuncture and Moxibustion Medicine, College of Korean Medicine, Kyung Hee University)

五積散の構成についての考察と、日本における口訣の変遷について

小川 真生 (金沢医科大学病院 麻酔科/集学的がん治療センター)

古典と生薬構成から考える五積散の臨床応用

矢数 芳美 (東京医科大学病院 麻酔科)

シンポジウム1 6月4日(土) 9:00～11:00 第1会場

がんと漢方

座長: 星野恵津夫 (がん研有明病院 漢方サポート科)
高田 光生 (徳島大学医歯薬学研究所 消化器・移植外科学)

S1-1 漢方薬によるがん転移の抑制

浜木 有夫 (富山大学和漢医学総合研究所 病態生化学分野)

S1-2 がん患者に対する漢方療法による支援について～かかりつけ医の立場から～

西内 崇科 (医療法人社団光形会太田中央医院 内科)

S1-3 外科の立場から見た癒治療における漢方の役割 - From bench to bedside -

吉川 幸造 (徳島大学医歯薬学研究所 消化器・移植外科学)

S1-4 がん患者の生活の質(QOL)を向上させる漢方薬

一総験に裏付けされた処方強化する科学エビデンス

上園 保仁 (国立がん研究センター 研究部 がん患者病態生理研究分野)

S1-5 化学療法サポートチーム(CST)と漢方

元雄 良治 (金沢医科大学医学部 腫瘍内科学/金沢医科大学病院 集学的がん治療センター)

S1-6 漢方薬でがん治療は楽になり、患者は延命する

星野恵津夫 (がん研有明病院 漢方サポート科)

シンポジウム2 6月4日(土) 9:00～11:00 第2会場

女性の健康と漢方

座長: 福澤 素子 (表参道福澤クリニック)

塩田 敦子 (香川県立保健医療大学 看護学科)

S2-1 女性産婦人科医からみた漢方

塩田 敦子 (香川県立保健医療大学 看護学科)

S2-2 女性の心の健康と漢方

岡 留美子 (岡クリニック)

S2-3 高知大学医学部附属病院総合診療部における女性漢方診療について

松元かおり (高知大学医学部附属病院 総合診療部)

S2-4 漢方薬を処方するだけが漢方ではない～“地域”の目線と女性を診る～

葉 欣子 (医療法人三谷ファミリアクリニック)

シンポジウム3 6月4日(土) 14:30～16:30 第3会場

伝統医学 未知の領域

座長: 広瀬 篤二 (千田診療所)
上馬場和夫 (帝京平成大学ヒューマンケア学部)

S3-1 新経絡治療の特徴と発達障害および腰部脊柱性狭窄症の治療効果について

宇土 博 (友和クリニック)

S3-2 経絡診断と経絡貼薬治療

広瀬 篤二 (千田診療所)

シンポジウム3 6月4日(土) 14:30~16:30 第3会場

伝統医学 未知の領域

- 座長: 広瀬 裕二 (千田診療所)
S3-1 新経絡治療の特徴と発達障害および腰部脊柱狭窄症の治療効果について
S3-2 経絡診断と経絡貼薬治療
S3-3 ころの時代のアーユルヴェーダとヨーガの新たな価値
S3-4 ヒマラヤから描くこれからの医薬教育 ~葛根湯を題材として~

シンポジウム4 6月4日(土) 14:30~16:30 第7会場

探訪、古今、未来の薬草園

- 座長: 池上 文雄 (千葉大学環境健康フィールド科学センター)
S4-1 植物園と薬用植物研究 -高知県立牧野植物園の取組から-
S4-2 徳島大学薬学部薬用植物園における教育・研究及び情報発信に関する取組み
S4-3 地域密着の薬草園を目指して -松山大学薬学部附属薬用植物園の紹介~
S4-4 国産生産産に活かす新たな薬草園の役割

シンポジウム5 6月5日(日) 9:00~11:00 第2会場

傷寒論再々考

- 座長: 三谷 和男 (医療法人三谷ファミリークリニック)
基調講演1 現代に息づく傷寒論
基調講演2 機私的傷寒論考
S5-1 江部経方理論ダイジェスト 過去と未来をつなぐ架け橋として
S5-2 参加型学習で傷寒論を学ぶ
S5-3 傷寒論の「省略された背景」とは? ~増永静人の議論に学ぶ~

シンポジウム6 6月5日(日) 13:40~15:40 第2会場

精神科・心療内科領域で生かされる漢方

- 座長: 田中 邦雄 (明治国際医療大学附属統合医療センター)
S6-1 抑うつ状態、うつ病に対する漢方治療 ~西洋薬から漢方薬への置換の可能性~
S6-2 うつ病に対する漢方治療
S6-3 うつ病に対する漢方治療の試み
S6-4 総合病院心療内科外来における、漢方薬の重要性
S6-5 潜在性鉄欠乏症に伴う精神症状における食養生と漢方治療

シンポジウム7 6月5日(日) 13:40~15:40 第3会場

鍼灸の復興

- 座長: 山田 喜吉 (山田鍼灸院)
S7-1 日々の実践から 鍼灸の驚くべき臨床効果
S7-2 EBMと鍼灸 現状と課題
S7-3 未病を治して日本を救え! ~鍼灸を含めた医療環境の現状と問題点~
S7-4 鍼灸の今後のあり方をさぐる

シンポジウム8 6月5日(日) 13:40~15:40 第6会場

難病難治性疾患の病因病機を探る

- 座長: 井口 敬一 (いぐちクリニック)
S8-1 過敏性大腸症候群の診断から
S8-2 過敏性腸症候群・機能性胃腸症の病因・病期を探る
S8-3 高齢者肺炎のハイブリッド戦略 ~攻めて守る~
S8-4 難治性咳嗽に対する漢方治療の試み(非定型抗酸菌を含めて)

特別演題プログラム

ワークショップ1 6月4日(土) 15:40~17:40 第1会場

漢方薬をサイエンスする

- 座長: 井藤 肇矢 (静仁会静内病院)
W1-1 サイエンス漢方処方権論
W1-2 十全大補湯の免疫賦活作用と骨髄由来免疫抑制細胞
W1-3 インフルエンザと麻黄湯
W1-4 DNA障害活性をもつ漢方薬の分子生物学的手法を用いた網羅的探索
W1-5 漢方診療における PIP (Psychiatry in Primary Care) アプローチ
W1-6 抑肝散の慢性痛に対する効果

ワークショップ2 6月4日(土) 9:00~11:00 第6会場

四国が生んだ漢方医家

- 座長: 松岡 尚則 (岡林病院)
W2-1 奥田謙蔵先生の生涯
W2-2 奥田謙蔵とその医学のルーツ、土佐で生まれた大塚敬節
W2-3 奥田謙蔵の方部分類(類方)について~現代日本漢方での意義
W2-4 奥田謙蔵の高弟、藤平健の漢方医学 受け継がれたもの一受け継がれなかったもの
W2-5 漢方診療に日々過ごされた大塚敬節先生70歳当時の思い出
W2-6 診察室の大塚敬節、恭男先生

ワークショップ3 6月5日(日) 9:00~11:00 第6会場

地域に活かせる東洋医学の実践

- 座長: 岡部 竜吾 (伊那市国保美和診療所)
W3-1 地域の「気」を診る
W3-2 漢方内科研修を地域医療に活かす
W3-3 東京都心部でのプライマリ・ケアにおける漢方診療・教育活動
W3-4 僻地のニーズに鍼灸あり 鍼灸の併用にメリット

東洋医学と基礎医学との関わり

座長：久光 正（昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門）
松田 和也（松田内科医院）

- W4-1 漢方薬は投与量によって作用が変わる？
砂川 正隆（昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門）
- W4-2 鍼および漢方薬が血液に与える影響 - 瘀血に対する評価 -
石川慎太郎（昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門）
- W4-3 鍼が循環系に与える影響の神経性機序研究
内田 さえ（東京都健康長寿医療センター研究所 自律神経機能研究室）
- W4-4 三焦とは一体何なのか
篠原 明德（明徳漢方内科）
- W4-5 五苓散・アクアポリン・三焦の東西医学融合的考察
原田 康平（健中堂 原田・東邦クリニック）

医学教育における漢方 東洋医学を次世代にどのように伝えるか

座長：小林 直人（愛媛大学医学部 社会・健康領域医学教育学講座）
高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科）

- W5-1 医学生の授業における問題解決過程を学会発表・論文作成まで展開させる漢方の学術的支援
高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科）
- W5-2 東洋医学講義における五感を使った実践的で広範囲の試み
田中耕一郎（東邦大学医学部 東洋医学研究室）
- W5-3 学生のニーズに応えた漢方講義の実践 ~ 旭川医科大学での試み ~
間宮 敬子（信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門）
- W5-4 Web Test を活用した漢方卒前教育の深層評価の試み：出題内容からみた習熟度評価
飯塚 徳男（山口大学医学部附属病院 漢方診療部 / 広島大学歯歯薬保健学研究院 応用生命科学部門・漢方診療学）
- 追加発言 初期研修医を対象とした漢方教育 ~ 四国漢方セミナーの試み ~
小林 直人（愛媛大学医学部 社会・健康領域医学教育学講座）